

# 連結子会社の生産停止及び 2024年3月期通期業績予想の修正について

2024年2月13日



新田せりょう株式会社



## ■ ニッタゼラチンユーエスエーInc.(NGU)生産停止の要因

外部 要因	エネルギーコスト、人件費等の高騰 ・ 米国の経済成長、コロナ禍の影響による製造コストの急激な上昇
	北米における急速な市況の悪化 ・ インフレ影響による需要減退に加え、南米からの安価な牛皮ゼラチン流入によるゼラチン価格の下落
内部 要因	生産性の悪化 ・ 設備の老朽化に加え、高い離職率のため現地スタッフの習熟が進まず、設備不調が断続的に発生

NGUについては、今後も安定的な収益確保は困難であることから、北米事業をスリム化し、今後の成長分野にリソースを集中させていくことが、当社グループ全体の企業価値向上に資すると判断

## ■ 今後の供給・販売体制

- 北米市場では、NGUで生産していた豚皮ゼラチンは契約終了次第終売となるが、牛骨ゼラチン等は販売を継続。
- 日本およびアジア市場については、生産拠点が変わるものも一部あるが、従来通りの販売を継続。

## 2. NGU単体業績と連結業績への影響

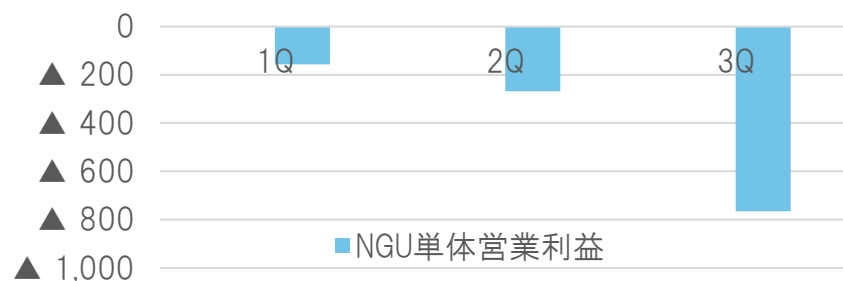
### <NGU単体(四半期別)>

(百万円)

	1Q	2Q	3Q	3Q累計
営業利益	▲157	▲268	▲766	▲1,191
経常利益	▲176	▲290	▲812	▲1,279
特別損失	-	-	1,762	1,762
当期損失	▲176	▲290	▲2,655	▲3,122

#### 【四半期別営業利益推移】

(百万円)



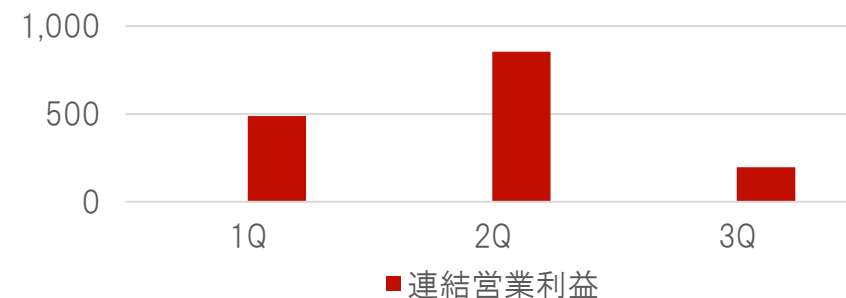
### <連結業績(四半期別)>

(百万円)

	1Q	2Q	3Q	3Q累計
営業利益	489	854	197	1,541
経常利益	741	997	▲27	1,712
特別損失	0	26	1,762	1,789
親会社株主帰属利益	248	442	▲2,300	▲1,610

#### 【四半期別営業利益推移】

(百万円)



- 日本国内からの技術スタッフ派遣等により生産性改善に努めるも、営業損失は四半期ごとに増加
- 3Qで原料価格の上昇がピークを迎えたことにより、損失幅が急拡大。次期以降の業績改善には生産停止が必要と判断

- 3QでNGUの営業損失が急拡大した影響を受け、連結営業利益が悪化
- NGU生産停止の意思決定に伴う特別損失(固定資産の減損損失)として3Qに約▲17億円を計上

### 3. 業績予想の修正について

#### ■ 2024年3月期連結業績予想の修正

(百万円)

	2024年3月期			2023年3月期	
	前回予想 (2023.5)	今回予想 (2024.2)	増減	前期実績	前期差異
売上高	40,000	40,000	—	39,186	813
営業利益	2,100	1,700	▲400	2,259	▲559
経常利益	2,100	1,700	▲400	2,248	▲548
親会社株主に帰属する当期純利益	1,200	▲2,400	▲3,600	1,558	▲3,958
年間配当(円)※	16.0	16.0	—	16.0	—

※実施済の中間配当8円含む

- 売上高：第3四半期までのペースを維持し、期初予想を達成する見込み
- 営業利益・経常利益：NGUの生産性悪化がグループ全体の営業利益に影響(通期影響額約▲17億円見込み)
- 親会社株主に帰属する当期純利益：NGUの生産停止の意思決定に伴う特別損失を計上予定  
(3Q:固定資産の減損損失、4Q:特別退職金、製造設備の撤去費用等の事業整理損)
- 年間配当予想：前回から変更なし(期末配当予想8円/通期配当予想16円)



# 新田ゼロチン株式会社

## <ご案内>

本資料に記載された見解、見通し、ならびに予測等は、資料作成時点での弊社の判断であります。  
その情報の正確性を保障するものではありません。市場環境等の様々な要因により、今後の業績は本資料の内容と異なるもの  
となる可能性があります。ご承知おきのほど、お願い申し上げます。